

神戸女学院大学音楽学部クラリネット作品・開発プロジェクト第2作

Clover's Wishing... for Solo Clarinet and Wind Orchestra

# クローバーの祈り

～クラリネットとウインドオーケストラのために

comp. by Yagisawa Satoshi  
作曲 八木澤教司

『クローバーの祈り』は、2022年からスタートした『オルチンの天使たち』（ロケットミュージック刊）に続く、神戸女学院大学音楽学部クラリネット作品・開発プロジェクトの第2作として作曲。この企画は同時期に本学に着任したクラリネット奏者である稲本渡准教授との出会いがきっかけで、同じ音楽家、教育者として共感するものが多く、顔を合わせれば教育・研究のアイデアを語り合う仲になったことで生み出されました。

「クローバー」は本学の校章にちなんだもので、2024年度の4年生たちがアイデアを出し合っ  
て決めたテーマです。前作と同様に伝統ある美しい本学のキャンパスで、葛藤しつつも希望のある  
未来へ邁進する様子を、さまざまな「祈り・願い」として描きました。また、冒頭では尊敬する稲  
本先生を目標に練習に励む学生たちを、独奏とクラリネットセクションのアンサンブルとして描写  
しました。

2024年11月に神戸女学院のエミリー・ホワイト・スミス記念講堂で開催されたコンサートにて、  
稲本先生の独奏と本学が誇る学生たちとの共演、私の指揮で世界初演しました。講師陣と学生たち  
が一丸となって研究・開発したこの作品が、広く親しまれることを心から願っています。

(作曲家 八木澤教司、2025年1月)

## INSTRUMENTATION

Full Score

\*Piccolo (Opt.)

Flute 1

Flute 2

\*Oboe (Opt.)

\*Bassoon (Opt.)

B<sup>b</sup> Clarinet 1 (2)

B<sup>b</sup> Clarinet 2 (2)

\*B<sup>b</sup> Clarinet 3 (Opt.) (2)

B<sup>b</sup> Bass Clarinet

E<sup>b</sup> Alto Saxophone 1

\*E<sup>b</sup> Alto Saxophone 2 (Opt.)

B<sup>b</sup> Tenor Saxophone

E<sup>b</sup> Baritone Saxophone

B<sup>b</sup> Solo Clarinet

B<sup>b</sup> Trumpet 1 (2)

B<sup>b</sup> Trumpet 2 (2)

\*B<sup>b</sup> Trumpet 3 (Opt.) (2)

F Horn 1 (2)

F Horns 2&\*3 (Opt.) (2)

Trombone 1

Trombone 2

\*Trombone 3 (Opt.)

Euphonium

Tuba

\*String Bass (Opt.)

Timpani

Percussion 1

(Chimes, Snare Drum, Triangle)

\*Percussion 2 (Opt.)

(Glockenspiel, Gong, Suspended  
Cymbal)

Percussion 3

(Vibraphone, Cymbals)

\*Percussion 4 (Opt.)

(Triangle, Bass Drum, Claves)

### 【演奏上のアドバイス】

八木澤教司准教授と共に取り組んでいる、神戸女学院大学音楽学部クラリネット作品・開発プロジェクトの第2作『クローバーの祈り』。演奏にあたって心がけたことを書かせていただきます。この素晴らしい作品を演奏するための参考になれば幸いです。

もっとも意識したことは「イメージを作ること」でした。荘厳で神聖な空気感の中で始まるクラリネットのソロには祈りを込めて、言葉を噛み締めるように一つ一つの音を大切にしました。音の方向性と逆符点の拍頭をしっかり取る事で、自らの信じた道を行く力強さを表現してみました。Ⅻからの愛に溢れた美しいメロディは、音をしっかりと響かせてガラリと雰囲気を変えることを意識しました。続くⅭからは、アーティキュレーションを活かして波乱の運命に翻弄されるイメージを作りました。しかし、決して刺々しくはならないよう、大きなフレーズの流れを作ることで、時の流れを表現できるよう工夫しました。Ⅿの吹奏楽伴奏は役割が前半とは少し違うので、お互いのフレーズ感を聴き合いながら一緒に音楽を盛り上げていきました。ⅰからは和音をよく聴いて、しっかりとハモらせていきたい部分ですが、音程を意識し過ぎるあまりにフレーズが停滞してしまわないよう、そよ風が吹いているようなイメージを持って、流れを感じながら演奏するようにしました。

まるで天からの贈り物のような美しい曲。自分なりの物語を作ってみることで、より演奏しやすくなると思います。ぜひ、皆さんそれぞれの祈りをクラリネットを通して表現してみてください！

(クラリネット奏者 稲本渡)

### 【稲本 渡 (いなもと・わたる) プロフィール】

音楽一家での音楽活動の中で育ち、5歳でステージデビュー。大阪府立淀川工科高校吹奏楽部にて部長、コンサートマスターを兼任。オーストリア国立グラーツ音楽大学を満場一致の最優秀で卒業。国際音楽週間01年度・02年度のオーストリア代表、オーストリア国立放送にソリストとして出演、大手新聞社にも取り上げられ、グラーツ国際音楽院講師も務める。08年～11年：佐渡裕が率いる兵庫芸術文化センター管弦楽団クラリネット奏者。京都御苑での奉納演奏、ビルボードライブ、演劇にも出演し、映画では音楽家役で出演、NHK大河ドラマ「どうする家康」劇中曲の演奏を担当。

一方で全国各地でのオーケストラツアー等のプロデュース、おおさか地域創造ファンドの採択を受け、音楽と地域資源とのコラボレーション事業を展開するなど多方面で活躍。2017年より堺親善アーティストに就任。

現在、神戸女学院大学音楽学部准教授。大阪音楽大学、大阪芸術大学各非常勤講師。

### 【八木澤教司プロフィール】

作曲家。武蔵野音楽大学作曲学科卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。

吹奏楽やアンサンブルの代表作は日本のみならずアメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国でも重要なレパートリーとなる。2019年11月9日、天皇陛下御即位奉祝記念式典・国民祭典において天皇后両陛下「お出迎えのファンファーレ」として、東京2020パラリンピック開会式の式典音楽として作品がそれぞれ抜擢された。その他、ヨーロッパで歴史的権威のあるスペイン・バレンシア国際吹奏楽コンクールの課題曲に作品が選定、ミステリー映画「ソロモンの偽証・後篇」では《輝きの海へ》が挿入曲として使用されるなど活動は多岐に亘る。合唱曲として手がけた《あすという日が》は“希望の歌”“東日本大震災復興シンボル曲”と称され、2011年第62回NHK紅白歌合戦において夏川りみ、秋川雅史の両氏によって熱唱された。

第21回日本管打・吹奏楽アカデミー賞[作・編曲部門](2011年)受賞、平成23年度JBA下谷奨励賞を受賞。

現在、神戸女学院大学音楽学部准教授、名古屋芸術大学客員教授。



### 【参考演奏】

神戸女学院大学ウインドオーケストラ



# クローバーの祈り

～クラリネットとウインドオーケストラのために

comp. by Yagisawa Satoshi

作曲 八木澤教司

**Serioso** (♩=ca.63) A

**Serioso** (♩=ca.63) A

1 2 3 4 5 6 7 8 9



17 C

\*Picc. Fl.1 Fl.2 \*Ob. \*Bsn. Cl.1 Cl.2 \*Cl.3 B.Cl. A.Sax.1 \*A.Sax.2 T.Sax. Bar.Sax. Solo Cl. Trp.1 Trp.2 \*Trp.3 Hrn.1 Hrns.2&\*3 Trb.1 Trb.2 \*Trb.3 Euph. Tuba \*St.B. Timp. Chimes \*Glock. Vib. \*Tri.

17 18 19 20 21 22